

2-12 環境教育・環境学習

琵琶湖を有し、四方を山々に囲まれた滋賀県では、その恵まれた自然のフィールドや豊富な資源を活かし、環境学習に関わる各主体が積極的に自然体験を取り入れた活動を実施しています。

1. 環境学習の推進

滋賀県では、持続可能な社会を構築する上で、環境学習が重要であることから、全国初の環境学習推進条例（2004年）を制定しています。この条例に基づき、計画の策定や、拠点機能を担う体制の整備、環境学習関連情報の収集や提供等を行っています。

2. 学校での環境教育・環境学習

(1) 自然を生かした体験型環境学習

子どもたちの身の回りの全てを環境ととらえ、実感・納得・感動のある環境学習を推進しており、特に、滋賀らしい環境教育・環境学習の取組として、びわ湖フーディングスクール「うみのこ」、森林環境学習「やまのこ」（森林政策課）、農業体験学習「たんぼのこ体験事業」（食のブランド推進課）などの自然体験型の環境学習を実施しています。

(2) ESDカレンダー（年間指導計画）

滋賀県では、持続可能な社会づくりに関わる課題を見だし、それらを解決するために必要な能力・態度を身に付けることを目指し、ESD（Education for Sustainable Development）の視点に立った学習指導を実践しています。

ESDカレンダー（年間指導計画）の作成により、人や社会とのつながりや他教科との関連を俯瞰的に示すことができ、また、学習内容を教科横断的に把握し、体系的な学習を視野に入れた教科指導、他教科で学習したことを活かした体験的な学習を進めることができます。

3. 環境学習の情報提供・支援

(1) 琵琶湖博物館

滋賀県立琵琶湖博物館は、淡水の生き物と環境、そして人々の暮らしを展示する総合博物館です。琵琶湖の生い立ち、人と琵琶湖との歴史、湖のいまと私たちをテーマにした展示を行っています。

(2) 琵琶湖博物館環境学習センター

琵琶湖博物館内に設置している環境学習センターでは、地域団体や企業、学校や自治体などから相談を受け、環境学習や環境保全活動に関する団体や講師の紹介、研修場所や企画内容などについて情報提供しています。

また、環境学習情報ウェブサイト「エコロシーガ」やメールマガジン「そよかぜ」で、環境学習関連データやイベントの情報を発信しています。

(3) 幼児の自然体験型環境学習

2001年度から幼稚園教諭や保育士を対象として、幼児向けの自然体験プログラムの実践的な研修を行っています。研修では幼児に対して実践的な自然体験学習を実施し、その実施事例を基に、幼児のための自然体験プログラム集として「新・うおーたんの自然体験プログラム」を作成しています。また、この取組をモデルとした研修が、2014年度から関西広域連合を通じて他府県市でも実施されるなど、滋賀県から関西へ広がりを見せています。



写真2-12-1 新・うおーたんの自然体験プログラム



写真2-12-2 琵琶湖岸での自然体験プログラム実施の様子

琵琶湖保全再生課・幼小中教育課・環境学習センター

【ESD】「持続可能な開発のための教育」と訳され、「全ての人が持続可能な社会の実現に必要な知識や価値観、行動力等を身につけることができる教育・学習」を意味します。ESDによって、環境問題・貧困・紛争といった現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、各自が身近なところから解決に取り組むことによって新たな価値観や行動が生まれ、持続可能な社会の構築に繋がると目指しています。

【エコロシーガ】環境学習の企画やプログラムづくりに必要な学習事例・人材・施設・教材・環境関連データ等を発信する環境学習情報ウェブサイトです。
<https://www.ecoloshiga.jp/>

